

科目名	果 樹	単位数	2 単位	学科・学年	農業総合 科 2 年	
使用教科書	果 樹 (実教出版)		副教材等	特になし		
学習目標	果樹の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、生産性の向上を図る能力と態度を育てる。					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査ごとを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	果樹の栽培管理、経営に興味・関心が高く、授業に主体的に参加し、また意欲的に取り組んでいるか。				
	②思考・判断	果樹の育成における基礎的な知識、調査観察を記録・整理しその結果を多面的に考察しているか。				
	③技能・表現 (表現・処理)	果樹の育成やその利用について基礎的な技術を身につけているか。				
	④知識・理解	果樹の育成や利用など基礎的な知識を身につけているか。果樹の育成と栽培環境の関係について理解しているか。				
		評価方法\観点	①	②	③	④
学習状況観察		◎	—	—	○	学習態度や状況を観察します
ノート提出		◎	—	—	○	学期に一回提出します
ペーパーテスト		—	◎	◎	◎	定期考査を実施します
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
○探求的な学習を通して果樹に関する興味、関心を高め、果樹の育成の基礎的な知識と技術を身につけましょう。						
履修上の注意	◇果樹の生育状況によっては実習を行うことがあります。 ◇各章が終わると復習プリントでもう一度確認を行います。 ◇学期末に必ずノート提出がありますので、毎回の授業できちんとノートを書くようにしましょう。					

学期	月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い	学習活動(評価方法)				
1 学期	4	第1章 果樹の種類と果樹栽培の動向	20	○果樹の種類と分類について学ぶ。 ○果実利用と食品の価値の重要性を理解する。 ○果実の生産量と消費量の動向を理解する。 ○果実の輸出入の現状を知り、将来の果樹栽培について考える。	【学習状況観察】 【復習プリント】 【1学期中間試験】				
	5	◇果樹の種類と果実の利用							
	6	◇果実栽培の動向							
	7	第2章 果樹の生育と栽培環境	8	○果樹の生育と気候・土壌・栄養・水分の関連を理解する。 ○果樹の生産安定と高品質果実生産かわる栽培技術と環境要因について学ぶ。	【学習状況観察】 【復習プリント】 【ノート提出】 【1学期期末試験】				
		◇果樹の生育と生理							
			◇果樹栽培と環境						
2 学期	9	第3章 果樹の栽培管理	12	○苗木の生産(繁殖)の特徴を理解し、その方法を学ぶ。 ○果樹園の開設に必要な自然的立地条件、経済的立地条件を学ぶ。 ○果樹園の造成、苗木の植え付け方法について学ぶ。 ○果樹の生育に適した土壌条件を知り、その管理方法を学ぶ。 ○果樹の生育と施肥の関係を理解する。 ○施肥の量・時期・方法について学ぶ。 ○果樹の生育と土壌水分含量の関係を理解する。 ○かん水の時期・量・方法について学ぶ。 ○果樹栽培に受粉樹や人工授粉が必要な理由とその方法を学ぶ。 ○落果の時期と原因について知り、その防止対策を学ぶ。 ○摘花(摘らい)と摘果の目的を理解する。 ○その時期・程度・方法を学ぶ。 ○芽と枝の種類と構成を知る。 ○さまざまな果樹の結果習性を理解する。	【学習状況観察】 【復習プリント】 【2学期中間試験】				
		◇苗木の育成							
		◇開園と更新							
	10	◇栄養と施肥							
		◇水分管理							
	11	◇結実管理							
		◇摘花(摘らい)・摘果							
	12	◇結果習性と整枝・せん定				14	○整枝・せん定の目的を理解し、その方法を学ぶ。 ○気象災害の防止対策について学ぶ。	【学習状況観察】 【復習プリント】 【ノート提出】 【2学期期末試験】	
	3 学期	1				◇気象災害の防止	16	○わが国で発生しやすい様々な気象災害について知る。 ○気象災害の防止対策について学ぶ。 ○果樹を加害するおもな病害虫の種類やその生態を知る。 ○病害虫の防除方法について学ぶ。 ○植物成長調節物質の種類と作用について学ぶ。 ○果樹栽培における植物成長調節物質の利用について考える。 ○わが国における果樹の施設栽培の動向とその特徴を学ぶ。 ○多様な作型を知り、それぞれについて理解する。	【学習状況観察】 【復習プリント】 【ノート提出】 【3学期学年末試験】
		2				第3章 果樹の栽培管理			
◇病害虫の防除									
3		◇植物成長調節物質の利用							
	◇施設栽培と特殊栽培								
時間数計			70						